

○令和2年11月2日 環境建設委員会の審査を行いました。

県議会の各委員会では、毎年テーマを定めて現地視察を行い、関係者から御意見等を伺っておりますが、今回は、コロナ禍の状況を鑑みて、現地視察に代え、県議会の委員会室に説明者を招くなどして、取組内容について意見聴取する形で行いました。

環境建設委員会では、今年度のテーマを「里海づくりの推進について」及び「河川砂防・下水道行政について」と定めています。

まず、ちちぶの会（三豊市仁尾町）から、里海づくりの先進的な活動事例として、ボランティアによる父母ヶ浜での清掃活動のきっかけや活動状況、これからの課題などの説明を受けた後、質疑を行いました。



次に、一の谷川 総合流域防災河川事業について、現地（観音寺市吉岡町）とリモート中継で結び、西讃土木事務所から、事業概要や施行計画などに関する説明を受けた後、質疑を行いました。



最後に、尾崎東川 通常砂防事業について、現地（高松市中間町）とリモート中継で結び、高松土木事務所から、事業概要や施行計画などに関する説明を受けた後、質疑を行いました。

